

製鉄記念室蘭病院に来院された患者さまへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

【研究課題名】

当院で過去 10 年間に経験した Inflammatory myoglandular polyp の臨床的検討

【研究責任者】

消化器内科・血液腫瘍内科 安部 智之

【研究の目的】

大腸には多数のポリープが発生します。腫瘍性ポリープ、鋸歯状ポリープおよび遺伝性ポリポーシスなどの癌化の危険性を有するポリープが有名ですが、大腸には、その他にも癌化の危険性は無いものの、特徴的な組織像を呈するポリープが多数発生します。Inflammatory myoglandular polyp (IMGP) とは 1992 年、Nakamura らにより提唱された非腫瘍性炎症性の大腸ポリープです。明確な原因は不明ですが、微小な過形成性病変に慢性の刺激が加わって病変が形成されると思われています。日常診療において時々観察され、腺腫との鑑別のため、内視鏡的に切除していますが、これらの臨床症状や発生部位、形態や治療方法などを比較検討します。

【研究の方法】

●対象となる患者さま

2010 年 4 月から 2019 年 11 月までに Inflammatory myoglandular polyp を内視鏡的切除あるいは外科的切除が行われた患者さま。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、身体所見、診断名、既往歴、内服薬、治療内容、血液検査結果、病理組織診断、画像検査結果、治療経過。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さまを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

消化器内科・血液腫瘍内科 担当医師 安部 智之

電話：0143-44-4650、FAX：0143-47-4354